

極北のダンスカンパニー大橋可也 & ダンサーズ、
次なる挑戦はウィリアム・シェイクスピア最後の戯曲『テンペスト』。

大橋可也 & ダンサーズ

大橋可也 & ダンサーズ

フェスティバル

配役について

「吉田アミ、か、大谷能生」名義で『デジタル・ディスレクシア』を発表したばかりの、大谷能生と吉田アミを、それぞれ主人公プロスペロー、妖精エアリエルに抜擢。言葉／文字／声が舞台空間を交錯する。主人公の娘ミランダと怪物キャリバンには、カンパニー・マリー・シュイナルやルイズ・ルカヴァリエとのデュオなど国内外で活躍するダンサー今津雅晴、チェルフィッチュの看板俳優、作・演出『海底で履く靴には紐が無い』を発表した山縣太一、大橋可也 & ダンサーズの歴代作品における主要な役を務めてきた皆木正純など複数の出演者が担い、その存在の多面性を描き出す。

大橋可也 & ダンサーズ (おおはしかくやあんどだんさーず)

1999年結成、ハードコアダンスを提唱し、暗黒舞踏にもとづく独自の
 的方法論によって現代社会における身体を探究している。2008年に
 発表した『帝国、エアリアル』では、関連するフリーペーパーを制作、
 配布するなど、舞台芸術の枠組みを超えた活動をおこなう。2013年、
 日本SF界を代表する作家、飛浩隆による長編小説『グラン・ヴァカ
 ンス』をダンス作品化。江東区を舞台にしたリサーチにもとづくプ
 ロジェクト「ザ・ワールド」を進行中。

☂ イベント あらしの前に

大谷能生、吉田アミ、大橋可也と特別ゲストによるプレイベントを開催します。本公演に先立ち、パフォーマンス、ライブ、トークで言葉と身体の関係を探ります。あらしの前の一夜に、どうぞお立会いください。

※ゲストはウェブサイトにて近日発表

2015.10.9 (金) 19:30

pit 北／区域 北区王子1-13-18 王子駅北口5分・5番出口1分

出演 大谷能生、吉田アミ、大橋可也 ほかに
+特別ゲスト(予定)

料金 予約：2000 円 当日：2500 円

予約 ウェブサイト (dancehardcore.com) 申込みフォーム

協力 東京バビロン

 ウェザーリポーター 募集中！

プレゼントでは、あらしの前の一夜を体感していただき、あらしの予兆をレポートする「ウェザーリポーター」を募集しています。ご参加いただいた方には、本公演のご招待券を進呈。レポートは500字程度で、ご自身の媒体とテンペスト特設サイトに掲載いただく予定です。詳細はウェブサイトから。

※限定10名

※限定10名

LINE

オリジナル
スタンプ、10月中旬頃より配信を予定！



出演者の大谷能生（プロスペロー）、吉田アミ（エアリエル）、大橋可也などをモチーフとしたオリジナルLINEスタンプ、全40種を制作しました。重厚で示唆に富んだ戯曲中のセリフを日々のやりとりにご活用いただけます。ぜひダウンロードを！

LINE スタンプご購入のお客さまは、本公演のチケット購入時に 500 円割引いたします。詳細はウェブサイトから。

イラスト：koya (賢者)

作品介绍

近代科学革命の予感が漂い、アメリカ新大陸の植民地経営が本格化した時代の英国で書かれた『テンペスト』は、シェイクスピア最後の単独作品だ。

たくらみによりミラノ大公の地位を奪われ、
孤島に流された主人公ブロスペローは、
研究の果てに身に付けた魔術をもって仇敵に復讐をする。
彼の復讐は、妖精エアリエルを操って嵐を起こし、
仇敵である彼の弟やナポリ国王らを乗せた船を難破させることから始まる。
まずは政略婚。ブロスペローの仕掛けによって、
娘のミランダとナポリの皇太子ファーディナンドは惹かれ合い、愛を誓う。
その上で、エアリエルの力で次々と怪現象を起こして仇敵を懲らしめる。
彼の計画にとって想定外だったのは、怪物キャリバンの反抗だ。
ブロスペローから言葉を教えられることで手はずけられ、
挙句には、奴隷のように使われていたキャリバンは、
新たな主人を見つけてブロスペローの打倒を夢見るようになる。

主人公は無事に復讐と和解を果たすが、争いを象徴するチェスで無邪気に遊ぶミランダとファーディナンドの姿には、その実、親世代に続く権力争いの影が差しているのかもしれない。

ドラマトルク・山本博士